

令和8年度(2026年度)事業計画(案)

1 事業実施の方針

これまで事業実施の方針として堅持してきた以下の3つの方針を令和8年度(2026年度)も堅持する。

- I. NPO 設立当初より継続してきた ICT を活用した日本における永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みの確立に向けた事業の推進
- II. アジア小児血液・がん治療研究グループ (通称: APHOG)の活動及び事務局機能の担務。
また、I.の活動により得た経験をアジアにおける小児がん長期フォローアップに生かし、それを支援する活動も含める。
- III. WHO(世界保健機関)及び SIOP/SIOP-Asia と緊密に連携し、「WHO Global Initiative for Childhood Cancer (通称: GICC) 」(2030年までに世界の小児がんの治癒率を60%以上に上げる。2018年発表)を推進するため、国内外における啓発・広報活動を行う。

2 具体的実施事業

2.1 国内事業

① WHO GICC の日本国内およびアジアでの啓発・広報活動

➤ 令和8年(2026年)2月15日(日) **実施**

ICCD 国際小児がんデー・イベント

主催:MOCC、APHOG、公益財団法人がんの子どもを守る会、その他

共催:SIOP/SIOP Asia その他

会場:佐賀エスプラッツ 3階

【プログラム案】

- 小児がん経験者及び家族や一般人を対象とした講演、ビデオによる啓発活動等
- 日本における永続的な小児がん経験者の長期ケアおよびサバイバーシップに関する仕組み作りを引き続き実施・確立するための支援活動
- **子どもホスピスについての講演・ディスカッション実施(8名)**

➤ 令和8年(2026年)9月5日(土)

国内およびアジアにおける WHO GICC 啓発イベント(Global Gold September Campaign)

主催: : APHOG, SIOP Asia, MOCC

後援: 厚生労働省、国立がん研究センター、国立成育医療研究センター、その他

会場: 国立がん研究センター 研究所大会議室

【プログラム案】

- 小児がん経験者及び家族や一般人を対象とした講演、ビデオによる啓発活動等
 - 日本における永続的な小児がん経験者の長期ケアおよびサバイバーシップに関する仕組み作りを引き続き実施・確立するための支援活動
 - アジアの各拠点よりの活動・現況報告(拠点のリーダーより)
- ② APHOG と連携し、海外人材育成支援事業に向けた取り組み ・アジアを中心に小児がんに関わる人材育成の支援事業の実施に向けた検討
例: 学会参加、ネットワーク構築、ニュースレターの発信など
- ③ 広報活動
- ・令和7年度(2025年度)改良したホームページ、SNS・インスタグラムの積極活用
 - ・イベント出展(令和7年/2025年は大阪万博出展)、協賛
 - ・ニュースリリース等の積極的メディア戦略実施
- ④ 小児がんの支援団体の相互の情報共有及び小児がん関係者以外への認知度の向上
- ⑤ 会員制の整備、認定 NPO 法人取得に向けた活動
- ⑥ 無・低関心層に向けてのアジア小児がん・長期ケアおよびサバイバーシップの啓発活動

2.2 海外事業

アジア小児血液・がん治療研究グループ(APHOG)の事務局機能を担いその活動に対する支援と資金集めを行うと共に、WHO GICC の啓発・広報を進めるための活動を行う。

- ① 令和8年(2026年)6月 SIOP Asia 2026 の際の APHOG Annual Meeting 2026 開催の支援
- ② 令和8年(2026年)10月 SIOP 2026 の際の APHOG Annual Business Meeting の支援
- ③ 令和8年(2026年)11月 APHOG & SIOP Asia Joint Scientific Symposium 2026 の支援
- ④ 令和8年(2026年)12月 APHOG Global Seminar の支援

2.3 資金調達

① 寄附金

➤ 法人

- ・従来の寄附先とのリレーション維持
- ・新規の寄附先の開拓

➤ 個人

- ・イベント実施時の寄附金集め（現場における募金箱設置など）

② イベント協賛

③ クラウドファンディングの実施（イベント毎、年間、対象者選別など）

④ ふるさと納税の活用（既存、継続）、企業版ふるさと納税（新規）

⑤ 行政・基金団体の「補助金」「助成金」「交付金」等を申請・応募（専門家へ依頼）

- ・令和8年度社会福祉振興助成事業へ応募実施

2.4 組織体制

◆ 事務局

令和7年度（2025年度）のメンバー、事務局長妙圓菌氏、佐賀事務局の稗田氏、山本監事、赤司監事、業務委託契約の竹村氏および越山氏（クラウドファンディング担当）の面々とで少数精鋭で堅実な組織運営を目指す

2.5 活動

- ・隔週木曜日午前中に実施している事務局定例打ち合わせの継続（必要時は随時実施）

2.6 予算計画(案)

添付資料参照

以上